



解答例

静岡新聞で学ぼう



Newspaper in Education

記事を読んで、問いに答えましょう。

2023年9月20日 中部版



①地域内を勇壮に練り歩いた大江八幡宮の御船神事②飯津佐和乃神社の御船神事で船が荒波を乗り越える様子を表現する船若ら＝牧之原市内

御船神事 勇壮に

牧之原 4年ぶり 地域練り歩き

海上の安全や商売繁盛を願う「御船神事」が17日、牧之原市の大江八幡宮（同市大江）と飯津佐和乃神社（同市波津）で行われた。地域住民が商船の木製模型を担ぎ、大海原を航海する様子を再現しながら勇壮に練り歩いた。

大江八幡宮は国指定重要無形民俗文化財、飯津佐和乃神社は県指定無形民俗文化財の伝統行事。今回は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった。

境内で「柱起し」「帆上げ」の儀式を行った後、長さ2メートルほどの船が出航。船若（ふなわか）と呼ばれる青年らは船首と船尾を交互に大きく持ち上げ、荒波を乗り越えていく様子を表現し、各地区内を歩いた。沿道には地域住民が詰めかけ、勇ましい姿をカメラに収めるなどした。（榛原支局・足立健太郎）



※小学校低学年の人は、家の人や先生と一緒にやります。

①見出しの「勇壮」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。（ ゆうそう ）

②御船神事で練り歩く地域住民は何を担いでいますか。

(例) 商船の木製模型(長さ2メートルほどの船の模型)

③御船神事は何を願って行われる地域行事ですか。記事から抜き出して書きましょう。

(海上の安全や商売繁盛)

④この御船神事の「見どころ」はどんなところだと思いますか。30字以内で書きましょう

(句読点を含みます)。

(例)・荒波を乗り越える様子を船首と船尾を交互に持ち上げ表すところ。(30字)

・大海原を航海する様子を再現しながら勇ましく練り歩くところ。(29字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
(小学校～中学校/生活、国語、社会、総合)